

父親の息子に
母親の娘に
対する責任
対する責任

チャールス E. バーカー博士
東 昭 二 訳

目次

父親の息子に対する責任

第10回国際ロータリークラブ連合会年次大会 1919年

母親の娘に対する責任

ニューヨークにおける講演 1921年

父親の息子に対する責任

第10回国際ロータリークラブ連合会年次大会 1919年

チャールズ E. ベーカー博士

父親の息子に対する責任

会長、ロータリアン、ゲストの皆様。五年ほど前に西部への講演旅行の時に、いくつかの西部のロータリークラブで講演しました。その中で、アリゾナ州フェニックス、カリフォルニア州サンディエゴの町の二つのクラブから私は名誉会員の称号を授与され、その榮譽を格別の誇りを持ってお受けしました。

それ以来、およそ百三十から百四十のロータリークラブでお話をすることが出来たのを真に有難く感謝しています。この五年間を振り返って、この国際大会において、この時点で、ロータリークラブ及び今からお話する考え方について私の果たすべき使命を今更のごとく痛感しています。私が常日頃感じていることですが、最近終結した戦争の

偉大な教訓というか戦争の恩恵とも言うべきことを、この国の人々は忘れる危険があります。そのため、私たちは若い男女に対する性病予防に関する重要な問題について、真実をより大規模で、しかも単純で分かり易い、現実的でしかも科学的な方法で教えなければなりません。

もしも皆様男たちが過去三年間、特に最近一年半の間に目を見張っていたら、全ての戦争の最も深刻な問題の一つは多数の兵士達に蔓延した性病であることをご存知だろうと思います。ところが今度の戦争ではわが国の軍隊は例外でした。英国陸軍のヘーグ將軍の談話によれば今回の戦争での最大の奇跡の一つはアメリカ兵が海外で清潔な生活を送ったことでした。(拍手)そのようなことが言われたのは何故でしょうか？ アメリカの兵隊が褒められた原因についてお考え下さい。

実はこれには理由があるのです。米国の参戦の時期が有利に働いた

ことと、更に私たちが海外に派遣した男、アメリカ人子供と言えは失礼ですが、平均年齢二十三歳半の若者は昨年及び一昨年に続いて米国の訓練場で米国政府から受けた指示に服従したからです。アメリカの男の子は国旗の名誉と軍隊の規律のために指示どおりに行動したからです。このことは欧州におけるアメリカ軍の勝利の最大要因だったと信じています。

パーシング將軍はベイカー長官に昨年十月に送った書簡で述べています。

『私の指揮下にあったアメリカの若者たちの行動について彼らの両親に送るメッセージを求められています。どうぞ彼らの父親及び母親にお伝え下さい。海外の米国陸軍と兵隊は英雄として戦い、戦の外では紳士として行動していることを誇りを持ってお知らせします……。』

(拍手)

彼らは紳士と行動したからこそ英雄として戦うことが出来たのである。両者の間の関係をどうぞお忘れにならないようお願いいたします。

政府は今年、この重要な問題についてこの国の全ての青年男女に科学的な情報を分かり易い言葉で広める仕事を始めました。アメリカの兵士が清潔にうために、そのような指示が必要であり、そのおかげで清潔に戦うことが出来たのです。同様に、本国に居る青年男女にもこのような指示を与えるべきではないでしょうか。

そこで、成年に達した青年男女に性病予防の指示を与えることは重要ですが、さらに大事な私は私は過去六年間一貫して申し上げていることは、これは馬の前に馬車を置くような元です。成年男女に、来世はともかく現世での幸せに最も重要なこの問題についての指示を与え

るのに十八歳か二十歳まで待っていると、取り返しがつかないことが起っています。この問題に対応する賢明なやり方は、家庭で息子には父親、娘には母親が受け持つことです。見知らぬ他人に任せると問題ではありません。又児童に対するこの教育を公立学校に任すべきではありません。(拍手)

ここで特に申し上げたいことは、この問題について、私はここ数年来の観察、経験及び研究の結果確信を持って申し上げたいことがあります。高校より下の公立校の年齢の児童に性病予防、避妊方法を教えることには賛成できません。しかしこの子供達に教えることは必要です。もしも父親や母親が責任を果たすための勇気と賢さを持って、何時かは必ず彼らを襲う誘惑から子供達を守るための情報と指示を与えることが出来ないなら、公立学校で教えないなりません。次の戦争が始まった時に、召集された若者の九十五パーセントがこの問題に

ついて不潔な場所で不潔な情報源からの知識しか持っていなかったような事が再び起きないようにしなければなりません。

それでも皆さんは他の大多数の方と同じように言われるでしょう。

『貴方の言われることに賛成しますが、その仕方が分かりません。』
そこで、今日は、この指示を与える方法及びその開始時期についてお話ししましょう。

今朝はこの演壇に仮に私の九歳の息子が居ることにして、聴衆の皆様のことを少しの間忘れて、この子に父親として率直に話掛けることにします。全ての賢明な父親は息子の成長にしたがって夫々の年齢期に対話を持つべきだと思います。そして皆さんが家庭にお帰りになられた時に、今までにされたことがなければ、新しい発想を持たれて対話を始められることを希望しています。更に今日ここで皆様にお話し

するメッセージを貴方のクラブの会員の方たちにもお持ち帰りください。

この問題は確実な方法で始めなければなりません。事業者及び専門職者の偉大なこの団体において、私がここで申し上げていることこそ、『最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる』のモットーのもっとも実践的な行動だと思います。この国の最大の財産は銀行、地下資源、公共建物、教育施設ではありません。それは娘や息子、子供達です。

(拍手)

そこで、皆様の疑問は、それでは両親は子供に対して性教育は何時から開始すべきでしょうか？ それは、子供がたとえば、五、六歳または七歳ごろに、或る日貴方のところに来て

『パパはどこで僕を見付けたの？ 僕はどうしてこの世に生まれて来

たの？』

と尋ねた時です。何故なら、これらの疑問は、五、六歳または七歳ごろの子供が自然に持つ当然な疑問です。貴方たちお父様は今までに、これらの質問にたいして何処まで正直に分かりやすく答えられたでしょうか？

貴方たちがお父さんにこのような質問をした時のことを思い出して下さい。十人のうち九人までが私のお父さんが私に答えたのと同じような経験をされたことを認めざるを得ないでしょう。その日に生まれただばかりの赤ん坊を私が見たときに医者は『君が生まれた時もこれと全く同じだった。』言いました。私はその家を飛び出して自分の家に戻った時に、ちょうど家に入りかけていたお父さんに出会いました

『パパ、僕はこれ位の大きさだったの？』

と聞きました。世界中の男の中で、父親として息子に真実を教えるべ

き絶好の機会だったので、聖者として尊敬され今天国にいる私の父親は私が言ったことは事実だと知りながらも、私が今提案しているような役割を果たすことは出来ませんでした。彼はこう答えました。

『チャーリー、そのようなことは絶対言ってはなりません。外へ出て遊びなさい。』

私は立ち去りました。父親が生存中かれに同じような質問はしませんでした。私が二十五歳の時に父親は亡くなりましたが私の小さい胸のなかで引き続いて繰り返していたその疑問について、心を打ち明けて話し合うことを彼は拒否したのです。

この問題について私の打ち明け話をさらに続けましょう。四十八時間のあとで私はオハイオの自宅の庭で或る男に同じ質問をしました。

『パパとママはどうして僕を手にいれたの？』

と聞きました。彼は言葉も考えも卑しい人でした。彼は結婚生活の

詳細な性活動を赤裸々に説明し、今日皆様の前に立っているこの男の魂を容赦なく、傷つけました。その結果、息子がこのような質問をする時かその前に私の提案を開始すべきだと信じているのは当然のこととご理解ねがいます。

そこで、私の息子に対して何を教えたらよいでしょうか？

「チャーリー、君がどうして生まれて来たか知りたいのだろうか？ いや、それではパパが教えるよ。膝の上に座ったら、お話しましょう。チャーリー、世の中の全ての花にパパの花とママの花があるのをしているのかな？ 知らないようだね？ それでは、そのことについて話すことにしよう。」

私はそこで出来れば百合かよく似た花を手にかざして言います。

「この花のずっと底が見えるかな？　そこにお母さんの場所があるのだ。そこから此処に立ち上がっているのがお父さんのものだよ。そこに『花粉』と言う黄色いものがあるだろう。それを君の鼻につけるよ。それがお父さんの場所からお母さんの場所に落ちるの。暫くたつと、そこに種が育ちます。私たちはその種を取り出して、土の中に入れて被せます。太陽が照りつけて、雨が降ると、二三週間経つと土の中から三四本の新芽が出てきます。素晴らしいと思うでしょう？」

「次に魚のことを話しましょう。春になると、魚のママやパパが川の中で深い場所よりも暖かい浅瀬に連れ立ってやって来ます。ママの魚が一人で先に泳いで行って体から数百個の小さい白い魚の卵を出します。その小さい卵は沈んで行き川底の砂地か砂利の上に止まります。そこでパパの魚はママの魚の後について泳いで行き体から白い液体を

出し、卵の上に振りかけます。それから二三週間経つとこれらの小さい魚の卵から可愛い魚の赤ちゃんが生まれます。大勢の赤ん坊が水中を泳ぎまわります。」

「ママやパパの魚は何をしているのでしょうか？　彼らはそこに留まつて赤ん坊や子供達を守っているのでしょうか？　いいえ、彼らはるか遠い深いところに行つて楽しく暮らしています。しかし、君が生まれた時はパパやママはそんなことはしなかつたよ。君が生まれた時はパパもママも君と一緒にいたのよ。これからも君がパパと同じぐらい大きく背が高くなるまで君と一緒に暮らすのだよ。」

「そこで、今度は鳥のお話をしましょう。それから君が生まれた時のことを話そう。春になるとパパ鳥とママ鳥が着の上に登つて囀り一緒に楽しい時を過ごします。紐、髪の毛その他のものを啜えてきて木の

高い枝に巣を作ります。そのような巣を見たことがあるでしょう。そこで、ママ鳥は何をするのでしょうか。ママ鳥は巣の上に座って体から五、六個の綺麗な鳥の卵を産みます。卵の色は鳥の種類によって、青、白、斑など様々です。そこで、彼女は三週間もの間巣から一度に一分以上も巣から離れませんでした。巣から離れると小さい卵は冷たくなり卵の殻の中にいる小さな赤ちゃん鳥が死ぬこと知っていたからです。その長い間パパ鳥は何をしていたのでしょうか。パパ鳥にはやるべき仕事がありました。魚、ミミズ、パン屑など色んな餌を集めてきてママ鳥に食べさせたのよ。“さあ、ママ、巣から離れられないので、出たと思うでしょう。しかし卵を大事に温めなければならぬのだよ。だから、巣から出てこなくとも良いように、私が毎日、日に二三度食事を選んでくるよ。”

「そこで、チャーリーよ、この二三週間の中に、卵のなかの小さい鳥

は一日ごとに強くなって、二、三週間経つと自分で卵の殻を突き破つて、この世に生まれて来ます。生まれたばかりで巢の中に横たわっている赤ちゃん鳥は可笑しい格好だよ。」

「そこで、息子よ、君のママの体の中で心臓からあまり離れていないところに巢があつて、その中で君は一年近く、九ヶ月も住んでいたことを君は知ってる？　ほとんど、クリスマスから次のクリスマスまでの長さだよ。ママは階段の登り下りは今までのように活発に出来なくなりました。体を急に動かさないように大変な注意が必要でした。それは巢の中に居る小さいチャーリーを傷つけないように大変注意深く慎重でした。あとの半年ほどの間、夜の外出はしませんでした。彼女の好きな映画も見に行きませんでした。そのほか多くのことを彼女は我慢したのよ。それは君に会う前、君のことを知る前から、君を愛していたからだよ。君がそこに居ることは分かっていたので、『チャーリー

「イが健康ですこやかに生まれるためには私はどんな苦勞でもするよ。」と話していました。医者 の 指 図 に 従 っ て 肉 を 避 け て、果物と野菜を沢山食べ、甘いものやキャンディは口にしませんでした。君も知っているように、ママはチョコレートが大好きだが、君のことを、君の顔を見る前から愛していたから我慢したのだよ。」

「パパも君が生まれる時には、君やママのために働いていたんだよ。君が生まれるまで長い間かかったが、その間中、私は家の外で君たちのために働いて、家にお金を持って帰ったんだよ。ママはその間、長い間家にいなければなりませんでした。家に帰った時にママに言いました。『ママ、ここにお金があるよ。これでチャーリイに着せるものをどつさり買いましょう。早めに石炭も買いましょう。もしもストライキのために何か問題が起きてても、石炭があれば、チャーリイが生まれて来る家を暖めることが出来るよ。』これらは全て私が君に会う前のこ

とだよ。君に会う前から君を愛していたんだよ。卵の中の赤ちゃん鳥のように、日々に大きくなり、一年近くの末に君は大きくなって自分の力で道を探してこの世に出てきたんだよ。素晴らしいことでしょう？」（拍手）

さて諸君、この神聖な教会での私のお話のなかで、何か不純で失礼なことを申し上げたでしょうか？ もしも何かあったとしたら、それは貴方の心の中であつたことで、この子供の心の中にはそれはありません。よう。（拍手）

時間を無駄にしないで、話を進めましょう。皆さんは私の話をよく聞いていただいております。拍手は話が全て終わってからで結構です。拍手を頂くのは嬉しいですが、今は時間を大事にしたいからです。

息子さんが五、六歳か六、七歳頃にこのようなお話がされたら、暫く経って年上の男か女の子が彼に、何か彼の体を損なうような今迄聞いたことがないような事をするように迫ってきた時には、先ず貴方のところに来て、そのような行動の是非について尋ねるでしょう。貴方は彼に知識の扉を開けたから、貴方は彼が信頼して打ち明け話ができる相談相手になったからです。納得して頂けたでしょうか？ それでも貴方は、『男の子の場合どうせ、親の言う通りにはしないよ。彼はどうせ好きな間違つたことをするだろう。』とおっしゃるでしょう。確かにそういう場合もあるでしょうが、大抵は親の言うことに従うものです。

聞いて頂きたいことは、私は長年、冬は毎週この話をして来ました。この六年間の間に話の後で、数百名の父親が私のところに来て言われたことは、息子たちが六、七歳ごろに私が教えたように息子と向き合

って話をしたところ、数年後に他の子供たちから彼らの健康に支障が起きるような手淫をするように薦められたときに父親のところに直ちに相談にきました。

『パパ、友達が僕にはよく分からないことをするように薦めてくれたんだよ。』

友達は皆、このことは父親には内緒にするようにと言われたが、僕はパパに全てのことを話すよと言ったとのことです。皆さん、これは本当にあった話です。数百人の方が子供に正直に話した結果について報告してくれました。

その男の子が十二、十三歳ごろになると、又別の話をする必要があります。この時は子供が親に聞きに来るのを待つ必要はありません。子供の成長期の十二、三歳ごろには彼自身、理解できないような体の大きな変化が起きています。しかし次の五、六、七、八年間の間、問

題の多い思春期の危険水域を無事に乗り切るためには、そのような変化について理解が必要です。今度は私が先手を打って、息子に対して話しかけます。

「チャーリー、今度は私から君に話したいことがある。二年前に一緒に話をしたね。それから後も、私から君に知って欲しいことと、君が知りたいことについても話をしたね。」

「チャーリー、今度は別のことを話したいんだ。君の顔に髭が生え始めているのは何故か知っているか？ 君の声も一寸重くなり声変わりしているのは何故か知っているか？ おそらく知らないだろうと思う。そこで君の体の中に著しい変化が起きていることを君に理解して欲しいのでパパがその理由を君に話そう。君の体の中で、生殖器官が活動し始めているんだよ。それが君の生活に肉体的、精神的、道義的にど

ういう意味があるのか理解して欲しいのだ。というのは、君が二十歳とか二十一歳ぐらいの成人になった時に心も体も共に健全であるかどうかは、このことの理解の仕方如何にかかっているのだよ。だから、注意深くよく聞いてほしいのだよ。」

（私が男の子に話すように易しく話しましょう。）

「さて、君の脳から脊髄が出ている。それは背骨又は脊柱と呼ばれる丈夫な骨組みの中を走っているんだ。この脊髄の全ての部分が私たちの神経センターと呼ばれているを知っているかな？ この細かい神経センターから数百本の神経が体の全ての部分に伸びているんだよ。たとえば、両腕、指や筋肉に走っている神経があるんだよ。この神経センターが健全であれば、腕を思いのままに動かすことができるんだよ。両足に神経を走らせている神経センターが健全であれば鹿のように走れるし、ボールを蹴ることが出来る。しかし、この神経センターが健

全でなければ、これらのことが思うように出来ないし、野球もフットボールも、何事もうまく出来なくなる。考えることを担当している神経センサーがうまく働かなければ勉強もあまり出来なくなるんだよ。」

「そこで君のキンタマ、隠囊の中に小さい分泌腺が二つあるんだ。それを睾丸と呼んでいる。今まではこれらの分泌腺は君の体の中で殆ど役に立っていなかった。しかしこれからは、君が生きているかぎり、毎日四六時中これらの二つの分泌腺は精液と呼ばれている濃厚な白い液体を体の中で作り続けるんだ。この液体は作られると直ぐに汲み上げられて二本の管を伝って君の体のなかにある小さい二つの貯蔵庫に運ばれる。そこから何処に行くのだろうか？ 四六時中作られるんだよ。しかし何処に行くのだろうか？」

「もしも男の大人や子供がこの液体をマスターベーションとか手淫―

（多分この言葉は息子さんに説明する必要は多分無いでしょう。十中八九、すでに学校で聞いて知っているでしょう。——もしも知っていないなら、説明してあげて下さい。）——などでこの液体を体の外に無駄にしていなければ、学者の数年前の発表によると、血液はこの精液を四六時中運んで神経のセンターを通じて脳に送り込みます。その結果勉強が良く出来、よく考え覚えることが出来ます。何でも良く出来、スポーツもランニングも良く出来るようになるんだ。」

「そこで、全てのが良くなりたいた願うなら、君の精液は体の中に大事にしまっておいて、他人の言いなりになって、元氣、活力、精力の源泉を無駄にしないことだよ。そうすると、エネルギーが体のなかに貯まって、野球、フットボール、テニス、勉強など何事をするにしても、十分な蓄え、を持ってすることが出来るんだよ。君にそのようなエネルギーを持ってもらいたいからこのような話を今しているん

だよ。分かったかな？」

「そこで、チャールイよ、もう一つ話したいことがあるんだ。男の子は皆、十五、十六、十七歳頃になると時々、夜寝てる間に精液を射精することを知っているかな？ 殆ど全ての男は皆そうなんだよ。そこでその回数がそれほど多く無ければ何も体に悪いことは無いんだよ。もしも回数が多いようならパパに言ってくれたら医者のところに行つて回数を減らす適当な方法を考えてもらいましょう。医者によれば夜時々夢精をすることは体に害は全くないんだ。」

私が今こんなことを皆様に申しあげるのは、もしも子供に夢精のことを教えておかないと、男の子は十人のうち九人まではそのことに驚き悩みます。そして、偽医者とか宣伝広告はこれは危険なことだと宣伝して『治療するよう』に罠にかけます。夢精は全く自然な生理現象

であり、子供達はそれを知る権利があります。

息子が十五、六歳頃になり高校に行きだし、当然のこととして、女の子と付き合いを始め、楽しい時を過ごすようになった時に彼と又話し合いを持たなければなりません。彼が丁度今家にいるとして、このように話し掛けます。

「チャーリー、君が女の子と出かける時には精一杯楽しい時を過ごそう。パパは望んでいるよ。適切な時に出かけて出来るだけ楽しむがよい。しかし、二三注意したいことがあるんだ。君が婚約者として親しくする権利を持つまでは、町の中や、学校でどんな女の子に対しても馴れ馴れしく手を出しては駄目だよ。女の子と精精楽しんで、一緒に遊んだりダンスなどをして、素晴らしい時を過ごしなさい。しかし、この娘たちを守る責任は君が持っているんだよ。君は彼女たちの保護

者なんだ。高校のダンスとか夜自動車で出かけた時に、多くの思慮の足りない男の子がするように、深い考えもなしに、彼女たちを抱きしめたりキスをするような習慣を身につけないで欲しい。そのような行為が悪いことだということを彼等は分かっていないのだ。彼らは、それが有害だと教えられていないから仕方がない。しかし君は今私から聞いたのだから、チャーリイよ、誘惑に負けて大変なことにならないよう十分注意することだよ。君は女の子を傷つるようなことはしたくないだろう。彼女と楽しい時を過ごし、手を取って遊ぶが良い。しかし、潔癖で気取った『すまし屋』にならないこと。又、女々しい男の子ほどこいやらしいものはない。もしも君がそうになったら叩きのめすよ。彼女たちには男らしく振舞うこと、一緒に出かけて大いに楽しむこと、但し、彼女たちを大事に扱うんだよ。君は彼女たちを守る責任を持っているんだ。」

「さあ、そこで良く聞くんだよ。或る日、或る大人が君に近づいて来るだろう。よく注意するんだよ。彼らは君に近づいて、そして君を誘惑して、全ての男が聞いたことのある歌——女との性交は必要なんだ——とささやくだろう。二十五年前まで一部の医者、最近では十五年前まで或る医者は『これは必要なことだと思われる』と言っていたんだ。ところが有難いことに、チャーリーよ現在の米国の医学界では一人の例外もなく、性交が健康、行動力、活力のために必要ではないと述べている。さらに五十、六十歳まで独身で自活し、女性との性的関係を持たない男性でも健康で活力を維持できるだけでなく、性生活を持つた場合よりもより健康でより活動的になるだろうと述べている。彼等が結婚した場合には、男の健康には性交が必要だと信じていた男と比較して、より健康な子供が出来る」と述べている。」

「チャーリーよ。性交が必要だと言う大人たちはそうしたいから言っ

ているだけなんだ。古くからの嘘偽りを彼らの行動の言い訳に利用しているだけなんだ。これこそ真正銘の事実だよ。君が今この真実を理解してくれるよう神様に祈りたい。」

「シカゴのビリング博士、マーヨ博士兄弟、偉大なジャコビ博士、J・B・マーフィ博士その他多くの米国の指導的な医者360名がこの古い学説に反対する声明書に同意し署名している。」

医学会の専門家は遂に世間に対してこのような声明書を発表しているんだ。『男は誰でも結婚した妻との関係以外に状況によっては他の女性と性的関係を持つべきだ』という理論には科学的な根拠がないとの声明書を医学界の権威者達が七年前オーストリアのウイーンで発表している。世界中から集まったこれらの医者は述べています。『今こそ専門家である医者は世界中の男たちに性交は必要との昔からの考えはタブーであるとしてきっぱりと葬ったんだ。』

この声明が世間にどんな意味をもつのだろうか？ それは唯一つ。新しい時代が始まったのだ。私が死ぬまでに、性交に関して男と女に對して適用されている二重の行動基準が無くなることを望んでいます。（拍手）今では、男は少なくとも子供の将来を考えて清潔な生活を送ることを誇りにすべき時がきたのです。だんだんそうなっています。戦争のおかげでこの傾向は強まりました。

「私たちの若い兵士が海外で清潔な生活を送ったとしてパーシング將軍が国防長官に送った報告書のなかで賞賛しているんだ。その報告書はワシントンで展示されて誰でも見ることができろ。『私は海外に派遣された米國軍野戰連隊の三千六百名の記録を自ら調査した結果性病にかかった兵士は一人もいなかった事を私は米軍の指揮官として誇らしく思っています。』」（拍手）よく考えてごらん。兵士たちは外地に

居る間に、性交は不必要であることが分かり、国旗の名誉にかけて母国の家庭の娘たちのために清潔な生活を送ったのだよ。私たちも清潔な生活をしているこれらの若い兵士たちを見習はなければ。」

「君は今では、この兵士たちと同じ考えを持っているんだよ。いまからこのことを君にはなしたかったんだよ。」

息子が結婚するときには次の話をすべきでしょう。この段階では皆様がどんな話をされるか私が申しあげてもないと思います。皆様にお任せします。私はここで話すべきことは全て申し上げました。しかし皆様のなかで多くの方が私の息子が結婚する前に私が何を話すかということに関心を持っておられるように思われます。というのは私たちアメリカの生活のなかでこの問題について教育制度は役に立っていません。十人中九人までの若者は彼らが結婚以前に知る必要のある基

本的な当然知るべき知識を持たずに結婚生活に入っています。そこで息子が結婚生活に入る前にこれらのことを話すのは私のすべき仕事だと信じています。そこで私は息子に話す要点をお話しましょう。あまり詳細には立ち入らないで、この問題について重要な点についてお話ししましょう。

「チャーリー、君は来週メアリーと結婚するんだね。彼女は実に素晴らしい娘だよ。私も嬉しい。しかし、チャーリーよ、これからの長い年月の間、幸せになるために、これからパパの言うことを良く聞いて呉れ。今まで君に色んなことを話したね。君は私の同志、息子であり、心の許しあつた友達なんだ。ここでパパが話そうとしていることは君とメアリーとの今後の幸福にとって大事なことなんだよ。」

「私は君がメアリーとの性生活について最初から自分をよくコントロ

ールして節度を保つことを望んでいるんだよ。といのは、多くの若者や結婚しても正しいことを知らない大人たちと同じように、君がメアリイとが過度の節度のない関係を持ち続けると、長い間に徐々に君の精力、活動力とか神経能力が枯渇して、男として最高の活動期である五十から六十歳ごろに大変な機能障害を負うことになるんだよ。それだけでなく、もしも君がワイフと不適切かつ過度の関係を持つても合法的であり誰も止めようとしませんが、君たちの結合から生まれてくる子供達は君の不適切な関係と自制心の不足の結果、出生時には虚弱児になるが、君の子供がそんなことになるのを君は望んでいないだろう。」

「子供達は皆健全に生まれてくる権利を持っているんだよ。君の息子や娘はまだ生まれていないが、彼らは見ることが出来る目、聞くことが出来る耳、そして沢山なエネルギーと活力を持って生まれてくる権

利を持っているんだよ。君とメアリーが健全な判断力を持って性生活をコントロールし節度を守ればこれらのことを子供達に与えることができるんだよ。」

「性生活について私自身を標準としていう訳ではないが、目安はある。それは世界中の最高の医者が過去五年間に定めた境界線がある。男が妻と維持すべき最高の性交回数には月に二三度を超えるべきでない。彼らは繰り返し述べている。しかし多くの男は、誰も私が今話していることを聞いていないから、結婚という合法的な機会を利用して性欲の赴くままに過度の關係を持っている。というのは、だれもそれが間違っているといわないからだ。だから彼らの罪ではないし、私も彼らを非難しない。しかし、君には世界中の最高の医者が言っていることを教えたんだよ。『月に二度か三度以上は慎しむこと』君がこれを守れば不思議なことに長い年月の間に、君はより多くのエネルギーと活

力を持つようになり、更にメアリーとの高齢期にいたるまで性交を楽しむことが出来るんだよ。」

「もう一つ話したいことは、時には、会議場の町とか仕事での出張、その他のことで家から離れた時、あるいはメアリーが病気のため性交が出来ない時とかに色んな誘惑が君に襲いかかる時があるかもしれない。それがどんな誘惑であれ、他の女性と性交をしては駄目だよ。その理由は、そんな事をする男は遅かれ早かれ淋病か梅毒のどちらかに感染するんだ。偶には、そのような結果から免れる幸運な男性も居る。しかし、大抵の男性は免れることはできない。これらの二つの黴菌は医者が警告しているように、子供に伝わり、更に子供の子供へと四世代に伝わるんだ。男の多くはこの事実を理解していないんだ。」

五年前私は東部の町で背中に大きなこぶを持った男の子を見かけた。

その子のこぶは私が今まで見た中では一番大きかった。彼の背は曲がり心臓が押しつぶされていた。両膝は曲がりくねり、両手を前に開いて肘が脇にくっついていた。彼が教会の通路を苦勞して歩いているのを見たが本当に惨めな光景だった。私の講演が終わった後で彼は私のところに話すために来ました。その子がよたよたしながら階段を下りて私の講演会から立ち去ったあとで、私はその大きな教会の牧師さんに聞きました。『牧師さん、私は間違っているかも知れませんが、あの子が受胎する前にあの子の父親は梅毒にかかっていたのでしょうか？』

東部の大都会の大教会の牧師さんはその後、町の通りを歩みながら私に言いました。「貴方はあの子のことについて話しましたね。私は偶々そのことについて全てのことを知っています。あの子の父親は私の教会の信者です。教会の役員です。この町で一番の金持ちで、私が知っている最高の人物です。しかし、数年前に、私の書齋で扉を閉め

て私に言いました。

『牧師さん、もしも私があの一晩に立ち戻って私の人生をやり直すことが出来るなら、私はこの世に持っている全財産を捨てて、今の地位をすてて貧乏人として人生をやり直したいです。』

そこで彼は話してくれました。彼が二十一、二歳のころカレッジから町に帰ってきた時です。それまで彼は立派な青年で清潔な生活を送っていました。かれのカレッジの学友達と町を一緒に歩いていた時に彼らは誘い掛けました。

『紅灯街に行つて遊ぼう。』 彼は、

『私は行きたくない』

と言つたが、彼らはしつこくせまり、

『男なら皆そこで遊ぶのだ。君は女の子じゃないだろう。』

彼は皆の笑いものなるのを恐れて結局彼は『一度だけ行こう』といつた。後にも先にも。たった一回だけだったのだ。彼等が言う最高級

の場所に行きその夜梅毒に感染したんだが、その時は気が付きませんでした。数週間過ぎてから何かおかしいのに気がつき医者のところに行きました。診察の結果医者は

『大変だ、君は梅毒に罹っている！』

と言いました。私は

『何であろうと、直して下さい。かなり悪い病気だと思いますが、細菌を体の中から退治してください』

と言いました。彼は二年間昔からの方法で私を治療しました。それから女性とは一切接触しませんでした。私は男らしく我慢しました。医者には私に女性とは一切関係しないこと、更に、細菌が体内から無くなったと言うまでは結婚しないよう命令しました。私はその命令を忠実に守り、その前から交際していた女性から遠ざかりました。二三年後に医者から細菌はもう無くなり、完全に治ったと言われました。私はそこで以前交際していた女性との交際を再開しました。彼女は私が交

際を中断した理由を知りませんでした。そしてこの立派な娘と結婚しました。私は私の体は何処も悪くないと考えていました。何でもよく知っている医者言うことを信用していました。しかし梅毒菌はまだ私の体のなかに残っていたのです。一年後に最初の息子が生まれ、私が抱いたのは惨めな障害児でした。私は神を恨みました。神様のそのような仕打ちを理解出来ませんでした。しかし医者はそれは君の梅毒のせいだと私に言いました。この数年間私は毎日三回、息子の目を見るたびに、あの一晩、清潔な生活を送らなかつたために息子の人生を破滅して、息子が私のツケを支払っていることを思い知らされていきます。」

「チャーリーよ、私は事実を脚色したり誇張しているのではないよ。そんな取り返しのない危険をおかしてはならないよ。まだ生まれてない息子に対して君は責任を持っていうんだよ、そして私が言っ

たことを忘れないで欲しい。」

母親の娘に対する責任

ニューヨークにおける講演 1921年

チャールズ・ロバーカー博士

ニューヨークにおける講演 1921年

母親の娘に対する責任

チャールス・ロバート・バーカー博士

大都會の思慮深い男女が仕事や余暇から一時的に離れて数日間集い会い、この国が現在当面している非常に深刻な問題について考えることは人類にとって素晴らしい日であります。問題の一つ、多分一番大事な問題は、次の世代の養成と訓練でしょう。そこで、この優れた女性の聴衆の皆様私の全知全能を絞って問題を正しく理解し、考えていただけるよう努力します。まず『娘や子供達に対する母親の責任とは何か』という問題に対してお答えしましょう。

生まれ来る子供の権利

まづ最初に私は会場におられる将来の母親にこの問題につきお話し
たいと思います。将来の母親とは既婚、独身を問わず将来妊娠する可
能性のある全ての若い女性です。あなた達は、これらの生まれてくる
子供に対して重大な責任持っていることを特に考えられたことがあります
ますか？ 別の言い方をすれば、これらの生まれ来る子供達は幾つか
の『権利』を持っています。その権利の一つは健やかに生まれること
です。現代の最高の医学の研究では、子供が生まれたときの健康は妊
娠の前及び期間中の母親の体調に大きく依存しています。そのため、
最高の健康体を持つことが全ての若い女性の義務であることは明らか
です。

実際には多くの女性は“不健康を楽しんでいる”ように見受けられ
ます。彼女たちは日常生活で、多くの場合健康と豊かな活力が保証さ
れている単純なことの実行を拒んでいます。健康になるための代金の

支払いを嫌がった結果として、その子供が身体障害という『つけの支払い』を余儀なくされています。

若い女性が彼女自身素晴らしい健康を維持しかつ子供達に伝えるために支払うべき代金は、何でしょうか？

先ず、体の全ての部分が自由に動かすことができるような正しい衣服を着ることです。第二番目に毎日最低八時間から十時間ベッドの上で休養、睡眠をとること。第三番目に、多くの病気の原因である心配を避けるための強い意志、方法を学ぶこと。快活になることは心配と同様心の習慣であり切り替えが出来ます。第四番目に食事は規則的にゆつくりと、しかも食べ過ぎないこと。五番目に、毎日十五分から二十分、お腹と胸の筋肉に特に効果的な運動をする習慣をつくること。多くの皆様はこのような日課の時間がないと言われるでしょうが、この運動により仕事の能率が上がり、より容易くしかも疲れが少なくな

るでしよう。

準備の成果

この問題が特に貴女の生まれ来る子供に関して大変大事なことをご理解いただけるために実例がお役に立つでしょう。五年前にミシガンの北方の町でご婦人方の集会で健康問題の講演をした時に私は生まれ来る子供達のために体操が大事であることを強調しました。数ヶ月前にその町を訪問しました。私の『母親の…』講演を終えた時に、三十五歳ぐらいの女性が演壇に來られて私にあいさつされました。彼女は三歳ぐらいの健康そうな立派な子供を連れていました。彼女の話を要約すれば次の通りです。

『五年前貴方のお話を聞いた時、私は病弱でした。その時から四年前

に生まれた私の小さい娘は非常に弱くて繊細な子でした。貴方のお話は私を驚かせたばかりでなく、娘の健康状態に対する私の責任に初めて目覚めました。そこで私は運動を毎日真面目にすることを決心しました。貴方からその時に教えて頂いた体操をこの五年間一日も欠かさず真面目に実行しました。今では私はどんな女性にもひけをとらない健康に恵まれています。最高の幸せは、私がこの息子をこの世に生んだことです。この子は一度も病気になつたことはありません。』

今私の話を聞いておられる若いご婦人が、素晴らしい活力あふれた息子を両手に抱えてこの話をしておられたこの健康なご婦人をご覧になれば“同じようにしなさい”と言う必要はないでしょう。

もしもこの立派な聴衆の母親たちから生まれて来る全ての子供たちが今夜この演壇に集うことが出来れば——もしも彼らが私の言わんとしていることが理解できるなら——彼らは貴女達に両手を差し出してお

願いするでしょう。『私たちが立派な体格と健康な体を持ってこの世に生まれるように、どうぞ健康で丈夫になつて下さい。』それは何と素晴らしい光景でしょう。それは未来の母親になる貴女達全てに強烈な印象を与えることでしょう！　しかし彼らはここには居ません――彼らの声は聞こえません――そこで私が声を張り上げて皆様にお願ひします。これは私の力では及ばない仕事です。しかし誰かがしなければなりません。できれば未来の母親に彼女らの責任感を目覚めさせなければなりません。これらの子供達が貴女に生まれ来たら、母親としての最高の愛情でこれらの子供を愛するでしょう。それなら、強固な意志と先見性を持って、今から先立つて彼らを愛して運動を続けて彼らが丈夫で健康に世の中に出てくるようにして下さい。これこそ、生まれて来る子供に対する母親の責任です。

不服従の危険

子供が生まれてから母親としての次の責任は何でしょう？ 多分貴女達は賛成しないでしようが、子供に物心がつき始めたときから成長期にいたるまで家庭での服従を教えることが全ての母親にとって明白且つ間違いない義務だと私は信じています。私たちの大変多くの父母が彼らの子供達を『彼らの我儘』に任せて育てている事実はこの国の前途に横たわっている最大の危険であるということを私は信じています。この私の信念は年をへるに従って、ますます強くなっています。統計、観察は不法行為が特に若者の間での増加を示しています。この主要な原因は家庭での躾の乱れだと少年裁判所の判事委員一致の意見です。

典型的な実例

数年前、私はあるお宅を訪問していました。その教養の高い主婦と話をしている最中に四歳ぐらいの小さい娘さんが部屋に飛び込んで来ました。彼女の名前を仮にドロシーと呼びましょう。

『ママ、私はチョコレートが欲しいの、だがナーシーは呉れないの』と彼女は叫びました。そこで次の対話が続きました。

『ドロシー、貴女は数週間前に大変気分が悪くなったのを覚えているでしょう。お医者さんは病気の原因は貴女が食べたチョコレートが貴女の体に合わなかったからで、今後一切チョコレートをあけてはいけないと言われたのを覚えているでしょう？』

『そんなの知らない。私は欲しいの。私を愛しているのです。だつたら今すぐ少し呉れていいでしょう。呉れないなら、私は悲鳴をあげるわよ！』

『ドロシー、貴女が恥ずかしいです。これ以上騒ぐならあなたを罰します。ほんとに罰するよ！』

しかしドロシーはふてくされて、口をとがらしてチョコレートをねだりましたが、お母さんは娘を罰しませんでした。数分後にどのような結末になったか皆様にはお分かりでしょうか？

聴衆：『彼女はチョコレートを貰いました。』

全くその通りです。しかし、あなた達は最初からどうして正解を出すことが出来たのですか？ “ 貴方達は母親として同じ過ちを犯したからでしょう！ （長い間笑い）

この母親はとうとう言いました。

『ドロシー、これは良くないことだが、貴女は私を困らせたのです。泣き叫ぶのをやめるなら、少しあげましょう。』

そこで彼女はチョコレートの箱を持ち出してドロシーに少し渡しま

した。娘は散々苦勞して勝ち得た勝利に大變満足して部屋から踊りながら出て行きました。

先のことを考える

この母親に私が言ったことをお話したら、多分貴女達は、私が余計なお節介をしたと思われることでしょう。

『ブランク奥様、こんなこと申し上げれば御氣に障るでしょうが、貴女はドロシーさんにとって生涯持つことの出来る最悪の敵であると思ひます。』

勿論彼女は直ちに抗議し始めました。それでも私は敢て言い続けました。

『私が言い始めたことを終わりまで言わせて下さい。今日貴女は面倒な場面から抜け出すために最も易しい方法を選んで彼女の我儘に負け

たのです。こんなことが続けば彼女が十四歳、十六歳又は十八歳になつて世の中に出て、若い男とある晩ドライブかピクニックに出かけ、或いは公園の中で、チョコレートよりもはるかにもつと有害なものを欲しがつてそれを手に入れるようなことになつても驚かないで下さい。彼女は精神的、多分肉体的にも打撃を受けて貴女のもとに戻つて来るでしょう。その時に貴女がなさることは予想できません。貴女は両手を握り締めて貴女の娘にこのような不幸をもたらした神様を責めるでしょう。しかし、神様の罪を責めることは愚かな見当違いです。なぜなら、彼女は欲しいものは後でどれほど高いものについても手に入れることが出来るとの考え方を貴女は徐々に彼女に教えたからです。』

ここで、皆さんにお尋ねします。私は間違つたことをしたのでしようか？

(拍手)

懲罰の価値

力強いご賛同に感謝します。ここで数年来世間のあるところで主張されている子供達は罰してはいけません、理性に訴えてしつけるべきであるという危険な学説が全く不条理であると私たちは気がつき始めています。この考え方は、文明の進歩における人類の全ての経験のないがしろにしています。神様は教えに対する如何なる背信を常に罰しています。この神様の戒律によって始めて人類が現在の高度の文明を達成することが出来たのです。従って、神様からその養育を私たちに任されて子供達をしつけるために、この安全で賢明な方法を放棄しないで下さい。

皆様は私が体罰を強く支持していると誤解されるようなことはないと思います。本当のところ私はどのような形での処罰が正しいとは信じていません……（拍手）私の言いたいことはまだ終わっていません。

私が言おうとしていたのは、私は体罰が常に正しいと信じていません、しかし私自身の体験では—（笑い）。（正に皆さんの想像通りです）私自身の体験から得た結論は、或る子供には上手な”鞭打ち“は特によい結果を齎します。賢明な母親はどのような形の懲罰が夫々の子供から最善の結果をもたらすよう、子供の性格、気分を注意深く観察するでしょう。たとえば、神経質で興奮しやすい子供に対して特に効果的な懲罰は暫くベッドに寝かせることです。彼女が罰のベッドから目覚めたときは心身ともによい子になっています。

ここで、一言特にご注意したいことは、貴女自身が怒っているときに子供を決して罰してはいけません。貴女のそのような精神状態では落ち着いて考えることは出来ません。怒っているときには、子供の悪行をともしると誇張しがちで、子供は怒りにまかせた貴女の懲罰を何時までも恨むようになります。怒りが静まるまで待つて下さい。それから、子供が本当に規則を守らなかつたのであれば、懲罰の方法を計

画してから貴女の義務を果たして下さい！

ソロモンは多くの賢明な格言を残していますが、次の言葉が最高です。私はこれを全ての家庭の壁に掲げて欲しいと思います。

『子供に守るべき道を教えなさい。それは子供が大人になっても守るべき道です。』

早期性教育

私が次に皆様に申し上げたいことは、貴女方の娘さんが五歳、六歳か七歳頃から彼女の性生活に関する大切な真実を教えるのは明らかに母親の義務だということです。貴女の娘さんの快適で幸福な人生のためにも多分最も重要な事柄が一般にタブーになっています。そのため、性に関して子供達には正しい十分な情報を得る機会が少ないのは不思議

議ではありません。じっくり落ち着いてよく考えていただくと、世の中の悲しい事、不幸の多くは、性生活に対する無知か誤った考え方から起きていることに同意されるでしょう。何時の時代でも、無軌道な行為の犠牲者の口から同じ嘆きがもれています。

『どうして誰も教えてくれなかったの？』

ハーバード大学のエリオット総長は力を込めて言っておられます。

『性に関する沈黙主義の結果は破滅しかあり得ないことは実証されています。全ての賢明な人はこれに同意されると私は信じています。』

(拍手)

この提案を皆様が心から同意していただいたことを喜んでいます。

そこで大事なことは私たちの子供にこれらの事柄を教える最善で最も賢明な方法を決めることです。

性教育の方法

長年の観察と研究により子供達に性の真実を教える最善で最も安全な方法は父親が息子に母親が娘に教えることだと私は信じています。勿論両親のどちらかがこの仕事が出来ないか又は、やりたくない場合には片方がこの義務を果たして教えなければなりません。当然のことながら或る母親はそんな仕事は全く気がすまないので自然としり込みするでしょう。しかし、勇気を出して氷を割ると、貴女はこのことに關して子供の信頼をえることにより道がさらにやさしく開けて行くでしょう。

何時？ 大切な問題

子供に対する最初の性教育は何歳から始めるべきでしょうか？ 私が確信を持ってお答えしましょう。それは貴女のお嬢さんが貴女のと

ころに走って来て「ママ、私をどこで見付けたの？ 私はどうしてこの世に生まれて来たの？」尋ねた時です。これらは子供が母親に尋ねるのは自然でまともな質問です。しかし、今まで、母親は通常このよ
うな質問を全くはぐらかすか、或いは闇夜にコウノトリが連れてきた
のよ。とか”郵便配達夫が玄関に置いて行った“などと、空想の偽り
の答えで子供の好奇心を満たそうとしました。”勿論これらの答えで子
供は等分の間満足していますが、将来何時かの日に、或る大人の卑猥
な口から貴女のお嬢さんは事実を歪められた形で知るでしょう。その
時から、性に関して貴女はお嬢さんに対して影響力が失われるでしょ
う。どれだけ後で子供を助けようと努めても、もはややり直しはでき
ないため貴女の話に対する信用を取り戻すことは大変難しいことに気
がつくでしょう。

勿論、この時点で両親が直面する最も難しいことは小さい子供に情報

を与える最善の方法です。ただ単に明白な事実だけを教えることは、小さい子供の考えを混乱させ、かえって好奇心を膨らませることになります。児童心理の賢明な研究者はこれらの悪い結果を避けてしかも同時に子供を満足させ健全な教育の方法を発見しました。現在では、多くの父親、母親たちがこの方法を試して、子供に花や、鳥などの話を通して生命の物語をしています。彼らの体験談はこの方法を殆ど全面的に賛成しています。

話の始め方

この大事なことについて貴方達母親のご理解を助けるために、一寸失礼して私が母親の役を演じましょう。私の小さい娘は五歳で皆様おなじみの名前メリーと呼びましょう。メリーはある日私の居るところ飛び込んで来ました。『ママ、私は何処から来たの？何処で私を見付けた

の？”私は娘を膝の上抱き上げて言いました“メリー、お母さんは貴女がこの質問をするのを待っていたのよ。あなたが何処からきたのか、そして貴女のお父さんやお母さんは貴女が生まれてくるためにどれだけ苦労したのか貴女に知って欲しいのよ。世の中の全ての花や鳥は父親、母親があることを知っているでしょう？もしも知らないなら教えてあげましょう。全ての花や鳥にもパパ、ママがあるのよ。これから花や鳥のパパとママがどのようなにして可愛い花や鳥をこの世に現れさせたのかについてお話をしましょう。そうすると貴女も何処から来たのかわかるようになるでしょう。私が今手に持っている綺麗な百合の花を御覧なさい。この花の中心にお花のママが居るのよ。そしてこの真ん中から突き出ている部分がパパだよ。このパパのところからこぼれてくる黄色い粉が見えるでしょう。これは花粉とよばれているのよ。風が吹き花を揺すぶると、この花粉がママの部分に落ちます。そして、ママの部分のうち等側に細かい花の種が作られます。夫々の種

の中に鉛筆の芯の先よりも細かい花の赤ちゃん居るのよ。そこで私たちは植木鉢を取り出して土を入れて種を土の中に入れて被せて毎日少しの水をやり、植木鉢を日当たりのよい場所に出して種の周りの土を暖かくすると、素晴らしいことが起きます。種の中に居た花の赤ちゃんが大きくなり始めます。二三週間後には大きくなって種を破って土の中に這い出します。それからある日の朝、植木鉢を見ると或る小さな緑色の花の赤ん坊が土の中から地上に出てきます。こうして生まれてくるのよ。

鳥から学ぶこと

『鳥はどうして生まれてくるのでしょうか？ 今四月ですね。鳥たちは冬の間暖かい気候の南の方に行っています。そして夏にここに帰ってきて来て住むのよ。鳥は何時もパパの駒鳥とママの駒鳥と一緒に帰って

来るのよ。パパのミソサザイもママのミソサザイも一緒にです。貴女が見ているように何時でもお互いに愛し合つて楽しい時を過ごしていきます。一緒に木の間を飛び回り、お互いに深く愛し合っていると彼の言葉で話しながら巣を作る木を選びます。大体一週間足らずの間に、嘴に麦藁や草をくわえて木の上に運んで素晴らしい巣を作るのを見ることが出来るでしょう。』

『さて、ここで何が起ると思いますか？ お母さん鳥は巢の中に座り込んで一個、二個。三個、四個時には五個、六個の綺麗な卵を産みます。その時によつて、卵の色は、白、青或いは斑点がついています。鳥の種類によつて卵の色は異なります。そこでこの可愛い小さなお母さん鳥はどうすると思いますか？ お母さん鳥は巢の中に座り込んで二三週間ずっと続けて卵を抱いて温めるのです。』

『雨が激しく降りこんできても居心地の良い乾いた所に行かないでお母さん鳥は卵が一寸でも濡れないように巢の端に羽を広げてじつとし

ています。時には風がとても激しく吹くことがあります。お母さん鳥が巢の上に居なければ卵は揺れ動かされて壊れたでしょう。風が強くなればなるほど、お母さん鳥は巢の両側に足先をより強く踏ん張ってしっかりと支えてくれるおかげで卵はすこしも揺れませんでした。』

『その間、お父さん鳥は何をしているのでしょうか？　時には、巢の近くの枝にとまって、ママ鳥に愛の歌をさえぎって彼女を幸せに豊かな気持ちにします。時には、ママがずっと卵を抱いて温かめ続けることが出来るよう彼女の食べ物を探しに行きます。』

鳥の最高の研究者であるジョン・バロースによれば、パパお父さん鳥は朝目覚めるとすぐに地面に降りてミミズや蟲を見付けると口に咥えて木の上に飛上がって巢の端に置いて「お早うママ！　よく眠れましたか？　ここに朝食を持ってきたよ。あなたは卵を温めるためにすわり続けなければ、赤ちゃんは生まれません。食べ物のことは心配し

ないで。私が取ってくるよ。』

『それらの夫々の卵の中に、私の鉛筆の芯の先よりも小さい赤ん坊鳥がいます。ママ鳥が巢の中に居てこれらの卵を温め続けていると素晴らしい事がおこるのよ。卵の中にいる小さい赤ん坊鳥が大きくなり始めます。小さい頭、首、心臓、お腹、骨、足、羽などです。そしてある日赤ちゃんは大きく強くなると小さな嘴で卵の殻に穴を開けて巢の中に出てきます。”ママ今日は、私出てきたのよ！” “こうして子鳥が生まれるのよ。”』

子供の誕生

『メリー、貴女はママの体の内側で心臓のすぐ下に巢があつて、その中で一年近くも一九ヶ月住んでいました。その長い間中、お母さんは貴女のために如何して暮らしたのか話しましょう。その長い間いつも

あなたが、そこに居ることが分かっていたから四六時中私は貴女のことを考えて行動し貴女を見ることは出来ませんでした。が貴女を愛していました。』

『その年は、特に階段を上がったたり降りたりするときには何時も貴女に気を使っていました。わかるでしょう。貴女が巢の中に居る間は強く揺れないように特に用心しなければなりませんでした。お医者さん、もしも私が躓いて貴女が居るところを打ったりすると、貴女の小さい背中や足に障害を起こしたり、もしも死んだりするとメリーが生まれてこないかもしれないと言いました。』

『又、その年は私は貴女のために考えて食事をしました。お医者さんから、肉やキャンディ、甘いものは控えて、ミルク、玉子や青い野菜、果物をよく食べ沢山の水を飲むように言われました。そこで食事の時は貴女のためになるものを選んで食べました。私は貴女を愛して

丈夫で健やかに生まれて来て欲しかったのです。』

『その間、パパはどうしていたと思いますか？　パパは仕事場（工場、作業場、農場、店、等）にいました。貴女やママの食べ物や着るものを買うお金を稼ぐために一生懸命働いていました。勿論、私は貴女のベビー服を全部作りましたが材料を買うお金はお父さんが稼いだことを忘れてはなりません。』

『貴女がママの巣の中で大きくなり始めたところは鉛筆の芯の先よりも小さかったのです。小さい頭から始まって、それから背中、肋骨、心臓、お腹、脚、足、つま先、腕、手、指、目、耳、鼻、口、そしてある日、貴女の足や腕の筋肉が大きく丈夫になると巣の中で動き回り始めます。そこで、私はお父さんに、貴女が生まれて来るから早く家に帰るよう電話しました。それから貴女は自分で道を探してママの体内からこの世に生まれてきたのよ。その日が貴女の誕生日で、そのよう

にして出てきたの』〔拍手〕

私が小さいボーイの時に私が何処から来たのか知りたかった時に、私のお父さんかお母さんかがこのようなお話を私にしてくれたらよかったのにと、私は今夜切実に感じています。この簡単なお話を聞いて頂いた皆様の様子を伺って、この話を父母の口から聞くことが子供に素晴らしい有益な印象をあたえることをご理解いただけたと、信じています。

男の子が真実を知らされた実例

最近、私はミシガン市のロータリー・クラブで父親達に話しました。そこで私は私の仮の息子に対して今日と同じ生命の始まりの話をしました。話のあとで、町の指導者たちが私に言いました。『息子が六歳の

時に彼が何処から生まれて来たのかと尋ねました。彼の質問に私はあわてて、責任を逃れて、お母さんに聞くようにと逃げました。今から考えると、息子にとってよかつたことは、私の妻は子供は頼りになる返事を受ける権利があると思ひました。彼女はそれまで、このことを真剣に考えたことはありませんでしたが、息子を膝の上に抱き上げて息子は生まれる前に、彼女の体の中の心臓に近いところで生きていたことを彼女なりに説明しました。その間、どれだけ何時も彼のことを考え愛していたこと、正しい食べ物を注意深くえらんだこと、彼に障りが起きないように特に歩行に注意したこと、無事に健やかに生まれて、立派な大人になるようにと毎晩お祈りをしたことなど話しました。この話は息子に強烈な印象を与えました。彼は今十八歳でアナポリスの海軍兵学校に行っています。その話をしたあと、毎年彼の誕生日にはお母さんにプレゼントを贈っています。』〔拍手〕

皆様の生涯でこんな美しい話をお聞きになったことがおありでしょうか、更に息子の質問に答えた彼女の時間と手間は何千倍も報いられたとおもいませんか？

次の質問の答え方

多分或るお母さんは尋ねられるでしょう。しかし、娘がどうして巢の中に入ることが出来たのか知りたいという時には、どう答えたらいのでしょいか？

賢いお母さんはこのように答えるでしょう。

『メリー、貴女が理解できるように説明するのは大変難しいのです。貴女がもう少し大きくなってから、私のところに来て尋ねたら貴女が理解できるように説明出来るでしょう。それまで待てないでしょうか？』

もしもそれで彼女が納得してくれたら結構です。しかしこの問題が依然として彼女を悩ませているようなら彼女にわかり易いように真実を簡単に伝えるほうがよいでしょう。彼女は母親の口から最初に本当のことを聞くことは、あとで汚らわしい他人の口から野蛮で淫らな言葉で事実を知るよりは千倍も良いでしょう。

経験上、不思議に思われるでしょうが、母と子の間のこのような静かな対話は子供の好奇心を満足させます。子供は母親の打ち明け話を嬉しく思い、家族の秘密として大切に守ります。

思春期において

貴女の娘さんが十二、三歳頃の思春期になると、その時期の少女の肉体的、精神的な健全性に重大な関係のある多くの事柄について最善の注意をはらって具体的な指示を彼女に与えねばなりません。不潔な

習慣や大人の男やボーイとの不純な関係から発生する全ての危険について明白に説明することを躊躇してはなりません。このことについてこれ以上は申し上げませんが、大切なことは、もしも彼女が社会の規範に外れたり神や自然の教理にもとるようなことをすれば、後で大変高価な代償を支払うこと、それは彼女の子供を失うことになることを知ることはあなたの子供の権利だということ事です。

馴れ合い、『いちやつき』など

ここで、現代において大変重要と思われる問題について特にお話をしたいと思います。貴女のお嬢さんがパーティや社交の場に出かけてボーイとか若い男の注目を受けるような年頃になると、もしも彼女が過度の“馴れ合い”を許したり、楽しんだりすることにより受ける思いもよらない危険について十分知っていなければなりません。もしも

彼女に『手を触れさせない』との規則を守らせることが出来たら、深刻な間違いをおこす危険は少ないでしょう。『馴れ合い』こそが、若い女性の性格の『葡萄のつるを毒する狐』です。しかしこの事実を若いお嬢さんに説得するのは大変難しい仕事です。よく言われていることは、『だって、お母さん、今では皆がいちゃつくのよ。もしもボーイが私に偶にちよつかいを出したりするのを撥ね付けたら、私は皆に嫌われて誰も私とデートしなくなるよ。』

このような言い分にあなた方はどのように答えますか？ もしも貴女が人間性についてすこしでも理解があれば、もしも彼女が青年との馴れ合いに身を任せたら遂には大事なものを失うことになるだろう、彼女が本当に求めているもの―彼の賞賛自体を壊してしまうであろうことを分かせようと貴女は努めるでしょう。もしも貴女自身がこのことに十分納得されないなら、今晚お家に帰られたときにご主人に私

の言うことが正しいがどうか聞いて下さい。全ての男は性格の如何を問わず、権利を持つ前に彼に“馴れ合い”を許す女性に対して尊敬とか賞賛をいくらか無くすと私は思います。

それでも尚貴女のお嬢さんは納得しないで言い返すかもしれません。『お母さんは小さいことを大げさに騒ぎ立てているのよ。少しは私を信用して欲しいの。私だって何処まで許してよいか知っているのよ。間違ったことは絶対起こさないよ。』彼女は本当に自分が正しいと信じています。

そこで貴女はそのような馴れ合いの行為が大きな危険をはらんでい
ることを上手に説明すべき時が来ました。分かり易い言葉で簡単な真
実を話さねばなりません。それはアダム以降の人間の歴史上の経験が
物語っている真実です。若い男女が乗り物、公園のなかのベンチ、ピ
クニックの公園などで二人きりになった時に、これらの馴れ合いが許
されると眠っていた情欲が起こされ、理性が曇り、意思が弱くなり、

これらの初めての情熱に駆られて、女子は母親や、父親や、教師や、清く美しい人生を送りたいという彼女の立派な生活信条を忘れてしまひ――大變な過ちを犯します。一体誰を責めるべきでしょうか？ もしもこの危険について彼女に警告を發していなければ、貴女達にも一半の責任があります。

白鳥と危険な溪流

六年前の十一月に私はナイアガラ滝の町で一週間講演をしました。滞在中に町の指導者の一人である元裁判官が私にこの興味深い話をしてくれました。『先週、私は珍しいものを見ました。滝から一マイルほど上流の土手に私は立っていました。奇妙な音がしたので見回すと一群の約三十羽位の美しい野生の白鳥が南の方に飛んでいました。彼らは丸い輪になって降下して急流になっている川に入って行きました。』

彼らは多分何時も穏やかで静かな流れに慣れていて、思い胴体を動かすために激しく水かきを動かさねばならなかのでしょう。しかし、ここでは水の流れが彼らを流すのでただ遊んでいるだけでよかったです。羽をばたばたささせて、楽しそうにお互いを呼び合っていました。

あたかも彼らは『これこそ本当の生き方なのよ！ これこそ本当の生き方なのよ』と言っているようでした。そこから半マイルほど流されていったところで、八羽か十羽ぐらいは、そのような楽しみにある危険を感じたのでしょうか。南のほうの安全な場所に飛び去りました。しかし、あとの白鳥はそのまま川のなかにいました。楽しい時を過ごしていました。流され続けて大変愉快な時を過ごしていました。気がついた時は滝の端から数百フィートのところでした。川の流れは非常に速くなり滝の轟音が聞こえて来たのです。羽を広げて水の中から飛び立とうとしましたが手遅れでした。滝の真上の流れの吸い込む力が強いので水にしっかりと掴まれて滝に落ちて行きました。岩が

次々と彼らの足、首、羽を打ち砕きました。そこで友人と一緒に滝から半マイルの下流で小船に乗って流れに漕ぎ出して、これらの死んだ白鳥が流れて来るのを待つて拾い上げ家に持つて帰りました。」

男女交際の危険について見事な教訓になる最高の実話です。高校や大学の男女が最初はそれほど真剣でなくただ、ふざけあっている間に間違つた方向にはまり込んで、最後には恐ろしい悲劇に終わることがしばしば起つています。

最後に申し上げたいことは、私の申し上げることは多少古いことと思われるでしょうが、お嬢さんたちを取り巻いている現代の危険から身を守るために、お母様たちにとって、大変大切なことです。

監督、衣装、交際相手についての母親の責任

現代のダンスに問題があります。ダンスそれ自体の善悪とかその影響の是非について意見を差し控えますが、もしも貴女たちがお嬢さんにダンスに行く許可を与えるときには二つの条件を出して下さい。

先ず彼女が少なくとも或る年齢に達するまでは、全てのダンスの間及びその帰りには貴女がその判断力や品性を信用できる年配の人による介添えを条件にして下さい。若い男女が最近犯す多くの過ちは深夜おそくダンスからの帰宅の途中で犯されています。

第二番目の条件は、貴女のお嬢さんがダンスに行くときには彼女の衣装が慎ましやかで上品であることを確かめることです。（拍手）

彼女の介添え役やダンスのパートナーの欲情を励まし刺激するようなドレスを薦める間違いです。それは危険なブーメランになるでしょう。（拍手）

最後に私が特に申し上げたいことは、貴女のお嬢さんは清潔な生活をしていない男とは一切交際しないよう巧みにしかも強く主張することとは母親としての当然の権利です。(拍手)

ご承知の通り、私の意見は常に人気がありません。仮にある青年が金持ちで良い家庭の育ちでも悪魔の役を演じて、淫らな生活をすることがあります。或る母親はだまつて引き下がって言うでしょう。『彼はまだ子供ですよ、そのうちにまともになるでしょう!』このような態度は『ご都合主義』の主な原因だと思われませんか?

この若者は彼が間違ったことをしても、貴女の態度が自分の娘に対するとは異なることが分かると、かれはこれを口実にして『君のお母さんですら俺たちがこんなことをするのは当然だと思ってるよ』と言うでしょう。もしも貴女のお嬢さんとの交際と友情を求める全ての青年に対して『貴方は清潔な生活を送らない限り、この家の敷居を跨

いで私の娘との交際は許しません』と宣言して、その方針を堅持すれば、青年は貴方の固い信念に従うようになるでしょう。

(永い拍手)

電子文庫について

チャールス E. ベーカー博士

このベーカー博士の『父親の…、母親の…』についてポール・ハリスは彼の著書「This Rotarian Age ローターリーの理想と友愛」の「XV 明日のロータリ」において、

『教育の重要なを認めて、ロータリー・クラブは現に二百有余の学資補助基金を有し永久にこれを供給しようとしているのである。現在の少年は成長して将来の大人になる。』

ロータリー・クラブは、アメリカ中の専門学校生徒をしてチャールス・イー・バーカー博士の講演に列せしめ、これが費用を助けて多年に及んでいる。青春の危機にある約百五十万人の青年男女を対象とし、この方

法によりて最も重要な使命を彼らに達することが出来た。またその一部分としてバーカー博士の男子に対する『父の息子に対する務』、女子に対する『母の娘に対する務』の如き最も有名な講座もある。」

と紹介しています。

この電子文庫版はDPG田中毅氏の「ロータリーの源流・著作文献」収録されている「父親の息子に対する責任」「母親の娘に対する責任」東昭二氏(上郡RC)訳(PDF)A4版」をPC上で閲覧しやすいようにA6縦書きに再編集しPDF(電子文庫)にしたものです。

2008年2月文庫作成

大阪南RCY・木村

